

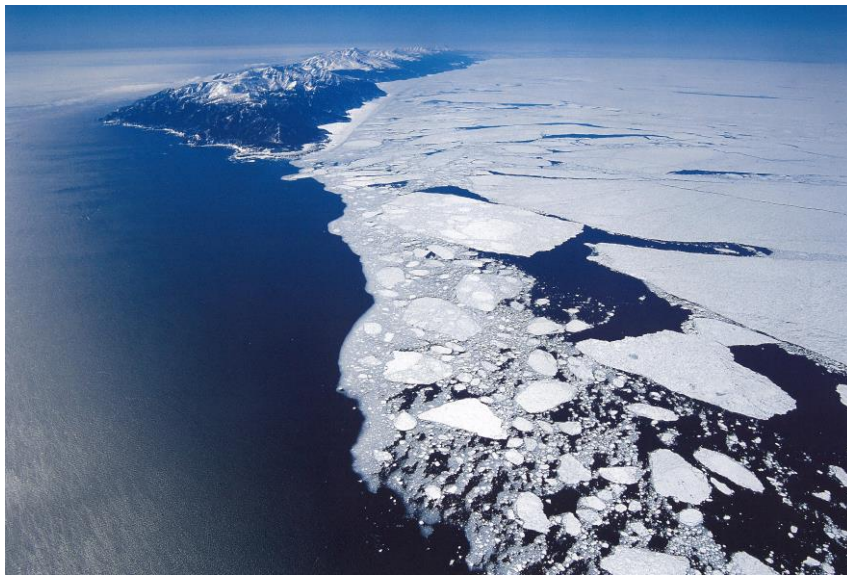
天然写真家 伊藤健次から
羅臼への贈りもの

アイヌプリ の原野へ

Nature Photographer
Kenji Ito Solo Exhibition

伊藤健次展

- 名称 アイヌプリの原野へ 伊藤健次展
- 会場 ギャラリーミグラード（羅臼町本町4-1）
- 会期 4月29日（土）～6月26日（月）10:00-16:00 開館 不定休
カフェスペースを一新し、リニューアルオープンします！
- <カフェ営業時間 9:00-17:00 *カフェ営業中はギャラリー観覧できます。>
- 観覧料 無料 *駐車場3台。他、道の駅知床らうすの臨時駐車場をご利用ください。
- 企画 羅臼町地域おこし協力隊 主催 (一社) 知床羅臼町観光協会



開催概要

春のミグラードでは、北海道に魅せられた写真家・伊藤健次の個展を開催します。伊藤氏は、ヒグマやシマフクロウなどの北海道固有の動物や自然を追い求め、30年以上、全道各地の野山を歩き続けてきました。近年の旅の中で、北海道先住民アイヌの人々、とりわけ芸術家たちとも交流してきた氏は、北海道という島、特に道東沿岸部を「環オホーツク圏」というオホーツク海を軸にした広い目線で捉え直そうとしています。

知床半島や大雪山、阿寒からロシア極東のアムール川流域、サハリン、クリル（千島列島）などへも取材を重ねることで、伊藤氏の旅は自然環境だけでなく、北方の文化や歴史を追う旅へと徐々に変化してきました。

知床半島では約10年間、根室海峡羅臼側での撮影を精力的に続けています。今回は、2016年に出版された『アイヌプリの原野へ—響きあう神々の謡』に関連した写真作品のほか、羅臼でシャチを撮影した新作も展示されます。ぜひご覧ください。

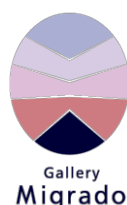
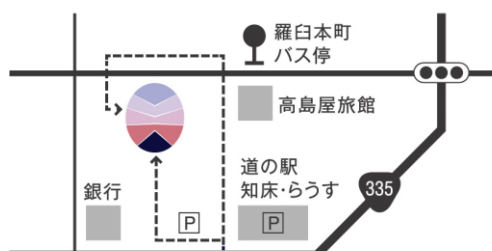
伊藤 健次（いとう けんじ）



写真家。1968年生まれ。北海道在住。

野生の生きものと先住民文化に魅かれ、北海道と環オホーツク圏で撮影を続ける。近年はアムール川源流のタイガと羅臼沖のシャチを精力的に撮影。熊の湯の大ファン。

近著に「アイヌプリの原野へ—響きあう神々の謡」（朝日新聞出版）、「川は道 森は家」（たくさんのふしぎ 2016年9月号・福音館書店）。北海道新聞朝刊にて「大地の息吹 海のささやき」連載中。北海道大学「ヒグマ学入門」、北海道教育大学「アウトドアフォト講座」非常勤講師。



<お問い合わせ先>

担当者：阪田

一般社団法人 知床羅臼町観光協会

〒186-1833 北海道目梨郡羅臼町本町4-1

TEL/ FAX: 0153-85-7331